

入札公告

物品調達等及び委託役務

次のとおり、条件付一般競争入札を実施するので、地方自治法施行令（昭和２２年政令第１６号）第１６７条の６の規定により公告する。
この入札公告に定めるもののほか、入札に関して必要な事項は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項及び同細則による。

令和７年２月６日

東広島市長 高 垣 廣 徳

1 入札に付する事項

(１) 物品・委託役務の名称	令和７～９年度三ツ城地域センター機械警備及び避難所遠隔開設業務
(２) 物品・委託役務管理番号	13060075
(３) 物品委託役務内容	警備対象施設において、機械警備を実施するもの。また、遠隔操作による鍵ボックスの警備操作が行えるようシステムを構築し、遠隔操作による施設及び鍵ボックスの警備業務を実施するもの。
(４) 納入・履行期間	令和７年４月１日から令和１０年３月３１日まで
(５) 納入・履行（就業）場所	東広島市三ツ城地域センター
(６) 予定価格	落札後公表
(７) 最低制限価格	なし
(８) 入札方式	一般競争入札
(９) 入札区分	紙入札
(10) 使用する契約約款	業務委託契約約款（役務の提供を受けるもの）
(11) 契約種別	総価契約
(12) 収入印紙	要

2 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げる要件を全て満たしていること。

ア	令和７～１０年東広島市物品役務等競争入札参加資格として次の入札参加資格認定区分の認定を受けている者	警備・受付＞機械警備★
イ	法令等による登録等	警備業法（昭和４７年法律第１１７号）第４条の規定による警備業の認定を受けていること。
ウ	技術者	問わないものとする。
エ	営業所等所在地 ※本店とは、法人にあっては登記されている本店をいい、個人事業者にあっては営業活動の本拠を置いている場所をいう。 ※営業所とは、法人においてその所在する市（町）の法人市（町）民税の申告のある営業所をいう。 ※東広島市外に本店を有する者における東広島市内の営業所は、法人市民税の申告のあることに加え、当該営業所が営業所等所在調書（令和７～１０年物品役務等競争入札参加資格審査申請書様式第３号）により、本市から営業所としての認定を受けていること。	東広島市内に本店又は営業所を有する者。
オ	会社の履行実績	問わないものとする。
カ	その他	令和７年１月２４日付け「東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項」の２（１）のいずれにも該当しないこと。

3 その他の入札条件

- (１) 東広島市機械警備業務共通標準事項を適用する。
- (２) 本案件は地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３４条の３に基づく長期継続契約として行うものであり、この契約に係る発注者の令和７年度歳入歳出予算が成立した時をもって効力を生ずるものとする。

4 日程等

手 続 き 等	期 間・期 日 等	場 所・留 意 事 項
ア 公告日	令和7年2月6日	東広島市ホームページに掲載するとともに、東広島市総務部契約課（契約担当所属）で閲覧に供する。 閲覧場所は、「6 問い合わせ先（契約担当所属）」に記載のとおり。
イ 仕様書及び見本等閲覧期間	令和7年2月6日～ 令和7年2月28日	東広島市ホームページに掲載するとともに、契約担当所属で閲覧に供する。 見本等の有無：有
ウ 同等品確認期間（物品の買入れ及び借入れに限る）		同等品で応札する場合は、同等品規格確認票（東広島市物品調達等及び委託役務競争契約入札心得（平成21年東広島市告示第83号。以下「入札心得」という。）別記様式第2号（第4条関係））により発注担当所属に持参又はファクシミリにより送信すること。ファクシミリによる場合は、事前にその旨を発注担当所属に電話で連絡すること。 なお、同等品確認に対する認定のない同等品での応札は認めない。同等品規格確認票の提出先は、「オ 質問書提出期間」に記載の発注担当所属とする。
エ 同等品確認回答閲覧期間		東広島市ホームページに掲載するとともに、発注担当所属で閲覧に供する。
オ 質問書提出期間	令和7年2月6日～ 令和7年2月14日 (午前8時30分～午後5時15分)	質問書は、本市所定の様式（入札心得別記様式第1号（第4条関係））により発注担当所属に持参又はファクシミリにより送信すること。ファクシミリによる場合は、事前にその旨を発注担当所属に電話で連絡すること。 地域振興部 地域づくり推進課（発注担当所属） 東広島市西条栄町8番29号（本庁北館1階） 電話番号 082-420-0924 / ファクシミリ番号 082-423-0270 質問書提出期間後の質問は受け付けない。 質問書の様式は、東広島市ホームページからダウンロードすることができる。
カ 回答書閲覧期間	令和7年2月19日～ 令和7年2月28日	東広島市ホームページに掲載するとともに、発注担当所属で閲覧に供する。
キ 入札期間	令和7年2月26日～ 令和7年2月27日 (午前9時00分～午後5時00分)	入札場所 東広島市総務部契約課（契約担当所属） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階） 入札書は、入札期間内に総務部契約課に持参して入札箱に投入すること。 初度の入札書は、入札の権限を有している者が記名押印すること。 特別の事由により郵便により入札書を提出しようとする者は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項細則に定めるところによるものであること。
ク 開札日時	令和7年2月28日 午前11時50分	開札場所 入札室（東広島市西条栄町8番29号 本庁本館4階） 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札がないときは、開札日の翌日以降に再度の入札（1回目）を実施するものとする。再度の入札（1回目）は、開札の立会いの有無に関わらず、初度の入札参加者（当該入札が無効となったものを除く。）が参加できるものとする。 再度の入札（1回目）を実施する日時、場所等の詳細は、初度の入札に参加した者に対してファクシミリにより通知する。 再度の入札（1回目）の結果、予定価格の制限の範囲内での入札がなかったときは、直ちに入札会場で再度の入札（2回目）を行う。 再度の入札は、2回目まで行う。

5 格要件確認資料の提出

本案件は、入札に参加する者に必要な資格を確認するために必要な資料（以下「格要件確認資料」という。）の提出を求めない。

(1) 提出書類

書類の区分	提出書類 (○印)	備考
ア 入札参加資格確認申請書		様式は、東広島市ホームページからダウンロードすることができる。
イ 入札参加格要件総括表		
ウ 誓約書		
エ 配置予定技術者届出書		
オ 履行実績確認表		
カ 履行実績証明書（物品・委託役務）		
キ 法令等による登録等を確認するための資料		
ク その他		

(2) 提出部数は、1部とし、提出した格要件確認資料は、返却しない。

(3) 提出期限

(4) 提出先 「6 問い合わせ先（契約担当所属）」のとおり。

(5) その他

入札参加者は、格要件確認資料を指定された提出期限までに提出できるよう事前に準備しておくこと。

格要件確認資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とする。

格要件の審査のために必要があると認めるときは、期限を定めて格要件確認資料の補正や追加資料の提出を求めることがある。

格要件確認資料に虚偽の記載をした者に対しては、指名除外措置を行うことがある。

6 問い合わせ先（契約担当所属）

総務部契約課 物品役務係

東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階）

電話番号 082-420-0930

ファクシミリ番号 082-431-0077

令和 7 ～ 9 年度三ツ城地域センター機械警備及び避難所遠隔開設業務 仕様書

1 業務名

令和 7 ～ 9 年度三ツ城地域センター機械警備及び避難所遠隔開設業務

2 履行場所

東広島市三ツ城地域センター

3 履行期間

(1) 履行期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

(地方自治法第 234 条の 3 に基づく長期継続契約)

(2) 前項の規定にかかわらず、翌年度以降において、発注者の歳入歳出予算の金額について減額又は削除があった場合は、この契約は変更又は解除することがある。

4 警備対象施設の名称

(1) 施設名称：東広島市三ツ城地域センター

(2) 位置：東広島市西条下見五丁目 4 番 8 号

(3) 構造：RC 造 2 F

(4) 延床面積：約 1,431.47m²

5 業務内容

警備対象施設において、警備業務用機械装置を使用して行う警備業務を実施する。また、本市から避難情報を発令した際、外部からライブ画像の確認及び双方向通話を行い、遠隔操作による鍵ボックスの警備操作が行えるようシステムを構築し、遠隔操作による施設及び鍵ボックスの警備業務を実施する。

6 業務目的

(1) 警備対象施設において起こり得る火災・破壊・不正・不良行為等のあらゆるリスクを分析し、事故等の発生を警戒、予防するための適正な警備計画を立案し、それに基づき警備を行うことにより、身体、生命、財産を保護するとともに、業務の円滑な運営を維持するため。

(2) 避難所としての早急な施設開錠対応を行い、早期避難者の身体及び生命を保護するため。

7 業務仕様

(1) 本仕様書に定めがない事項は、添付の東広島市機械警備業務共通標準事項（以下、「標準事項」という。）による。

(2) 本仕様書及び標準事項に定めがない事項は、施設管理担当者と協議するものとする。

受注者は業務に支障をきたさないよう、業務に関する事項について前任の受注者から十分引き継ぎを受けること。また、受注者の変更がある場合は、後任の受注者が業務に支障をきたさないよう、業務に関する事項について後任の受注者へ十分に引き継ぎをすること。

- (3) 著作権、特許権その他第三者の権利の対象となっている作業方法等の使用に関しては、その費用負担及び使用交渉の一切を受注者において行うものとする。

8 業務詳細

(1) 警備業務用機械装置

警備業務用機械装置の機能は、次による（○印のあるもの）。なお、機能適用及び警戒範囲等は機械装置特記による。また、業務期間終了後は、原則として警備業務用機械装置を撤去する。

装置概要	本業務該当	備考
①建物外周部のドア、ガラス等の破損及び開閉を感知する機能	○	②で補えない箇所のみ
②施設内へ侵入者を感知し、表示する機能	○	
③火災発生を感知する機能	○	
④ガス漏れを感知する機能		
⑤金庫盗難を感知する機能		
⑥機械装置及びセンサーの破壊、配線の切断等の異常を監視する機能	○	遠隔操作対応可
⑦非常通報押しボタンにより非常信号を感知する機能	○	
⑧施設内各種設備警報盤と結線し異常を種類別に監視する機能		
⑨警備の開始、解除の操作を行う機能	○	遠隔操作対応可
⑩基地局に異常等の信号を送信する機能	○	
⑪一般公衆回線の断線を監視する機能		
⑫一般公衆回線が使用中の場合、強制切断して警報信号を送信する機能		
⑬鍵ボックス及びインターホン等の設置	○	
⑭鍵ボックスのこじ開け等の異常を感知する機能	○	
⑮パソコン等から遠隔で施設及び鍵ボックスの警備開始解除等の操作ができる機能	○	遠隔操作対応可
⑯鍵ボックスが警備中は鍵を取り出せない機能	○	

(2) 警備員

本業務に従事する警備員は、警備業法（昭和 47 年法律第 117 号）第 14 条に定める警備員の制限に該当しないこととする。

(3) 警備計画書等

警備業務の実施に当たり、警備計画書及び警備業務用機械装置の配置平面図を作成し、施設管理担当者へ提出するものとする。

(4)業務の報告

機械警備中においては異常が発生した場合は警備報告書を作成し、あらかじめ指定された方法により報告するものとする。

(5)服装等

ア 警備員の服装及び装備品は、原則として受注者の定めるものとする。ただし、護身用具を携帯する場合には、施設管理担当者と協議する。

イ 制服については、次の事項を満たしていること。

(ア) 色彩が警察官等の服装の色彩と明らかに異なること。

(イ) 形式が詰襟である等警察官等の制服の形式と明らかに異なること。

(ウ) 警備業者の名称を表示した標章(60 平方 cm 以上)を上位の胸部及び上腕部に付けること。

(6)鍵の取り扱い

預託された施設の鍵の取扱いは、警備計画書によるほか次による。

ア 厳重に保管する。

イ 複製しない。

ウ 業務期間終了時に返却する。

エ 鍵の使用及び貸出は、指定された方法により管理する。

(7)業務引継

受注者は、施設の管理運営が遅滞なく円滑に遂行されるよう努めなければならない。このため、受注者は、発注者及び前回受注者から業務内容について、十分な引継を受けるものとし、また、次回業務受注者に対し、十分な引継を行うものとする。

(8)警備責任時間帯

施設の警備責任時間帯は、原則として防犯開始(セット時)した時点より、防犯設備のセットが解除された時点までとする。また、鍵ボックスの警備責任時間帯は、原則として鍵ボックスの警備開始(セット)した時点より、鍵ボックスの警備が解除された時点までとする。

(9)業務内容

基地局において、異常を感知した場合は、警備員が施設へ急行し、次の措置を行う。

施設の外部及び内部を点検し、異常の有無を確認する。なお、必要に応じ次の業務を行う。

ア 現場に応じた緊急措置

(ア) 火災を確認した場合の初期消火作業、避難誘導

(イ) 現場保存の対応業務

(ウ) 現地で警備員が業務上の契約にないが、状況の判断から緊急避難的に行う業務

(エ) その他、緊急措置として必要な事項

イ 施設管理担当者への連絡

ウ 基地局への連絡

エ 警察、消防署等への連絡

(10)書面の交付

受注者は、警備業法施行規則（昭和５８年総理府令第１号）第３３条第１項第５号に定める事項について記載した書面を提出するものとする。ただし、それぞれの事項は１つの書面であることを要せず、契約書、警備計画書、パンフレット等複数の書面でもよい。

(11) 警備機械等の設置及び撤去

受注者は、契約締結後、発注者と日程を調整し、警備開始前までに受注者の負担により警備機械等の設置を行うものとする。また、契約期間終了後は受注者の負担により当該警備機械等の撤去を行うものとする。

ア 警報装置は警備区域内で発生した異常事態を受注者の監視センターへ電話回線等により自動的に通報する機能を有するものとする。なお、遠隔操作に関するネットワークの使用については、発注者受注者協議の上、決定するものとする。

イ 警報装置には熱感知器及びフラッシュライトを組み込むものとする。

ウ 警報装置は自動火災報知機と連結するものとする。

エ 警報装置及び避難所遠隔開設システムの設置場所は、別紙図面を参照し、必要数を取り付けるものとする。なお、設置場所に問題がある場合は、発注者・受注者で協議し、変更することができるものとする。施設の改築・修繕による警備業務用機械装置の追加、撤去、移設等が発生する都度、警備計画書及び警備業務用機械装置の更新した配置平面図を作成し、施設管理担当者へ提出するものとする。

(12) 警備要領

ア 警備担当時間中は、警備受信装置を絶え間なく監視するとともに常に警備員と連絡を保ち、警備の万全を図るものとする。また、警備員は当施設に２５分以内（旧町に所在する施設にあつては３０分以内）に到着できる距離に常駐していること。

イ 警備機械等の開始及び解除は、原則として発注者の責任において行う。

ウ 警備機械等に異常があった場合は、受注者において早急に修理すること。

エ 警備結果について発注者から警備日誌の作成を求められた場合は速やかに作成し提出すること。

(13) 機器作動テスト

契約締結後、発注者及び受注者の協力により、取り付けられた機器等が正常に作動することの確認のためのテストを実施するものとする。

テストは、機器を防犯開始（セット）した状態で外部からの立ち入り等を想定したデモンストレーションを行うものとし、日程や実施方法の詳細は協議して定めるものとする。

(14) インターホン等の設置

遠隔での開錠操作を行う場合には、施設ごとに来訪者を映像で確認できる機器及び相互通話が可能なインターホン等（通話機器）を設置すること。インターホン等（通話機器）は、東広島市と各施設の通信が可能な回線を発注者受注者協議の上、決定するものとする。なお、受注者が用意した回線を使用する場合は、受注者が通信料を負担するものとする。

(15) 鍵ボックスの設置

施設開放のため指定した扉の近くに鍵ボックスを設置すること。鍵ボックスには警備中、鍵が取り出せない、異常を感知する機能を備えるものとする。

(16) LED ライトの設置

夜間の早期避難者の安全な避難を行う上で、人感センサー一体型 LED ライトを鍵ボックス周辺上部へ設置すること。詳細な設置位置及び電源の使用方法については、発注者受注者協議の上、決定するものとする。また、LED の昼夜切替調整や点灯時間の調整が行える機能を有するものとする。

(17) 遠隔操作

警備業務用機械装置はパソコン又は携帯電子端末等から遠隔で警備開始（セット時）及び警備解除の操作ができるものとする。警備開始（セット時）及び警備解除を行った場合には、リアルタイムに通知を行うものとする。

9 提出書類

受注者は、契約締結後直ちに本仕様書に基づき詳細な打合せを行い、避難所遠隔開設システム構築完了時に次の書類を提出しなければならない。

(1) 業務完了届 1 部

(2) 施工写真 1 部

(3) 操作マニュアル 1 部

(4) 管理者がシステムにより業務を遂行する上で、操作手順や機能を示した説明書

(5) 警備機器設置状況のわかる完成図面

10 その他

(1) 受注者の責めに帰すべき事由により警備責任時間帯に機械による警備ができなくなったときは、代替警備員の配置等機械による警備と同等又は同等以上の警備体制を受注者の負担により講ずるものとする。

(2) 委託料の支払い

ア 本業務は、部分払金を次のとおり請求できるものとする。

履行区分	支払金額	支払種別
令和 7 年 4 月から 令和 1 0 年 2 月までの各月履行分	円	部分払（部分引渡し）
令和 1 0 年 3 月履行分	円	完了払

イ 部分払金を請求しようとするときは、当該履行区分の履行報告を行っていないなければならない。

ウ 部分払の額は、契約金額を 3 6 で除した額（当該額に 1 円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てた額）とし、完了払の額はその残額とする。

11 特記事項

(1) 警備区域は施設建物内全般及び鍵ボックスとする。（屋外倉庫は対象外）

(2) 警報装置及び避難所遠隔開設システムは受注者が所有し、その維持管理も受注者の負

担において行うものとする。

- (3) 受注者は契約期間の終了により警報装置及び避難所遠隔開設システムを撤去する必要がある場合は、受注者の負担で速やかにこれを撤去するものとする。なお、撤去に伴う施設の損傷については、その原因が受注者の重大な過失によるものと認められる場合を除き、受注者はその損傷を修復する義務を負わないものとする。
- (4) 発注者は、緊急連絡網など緊急時に係る対応策を作成し、受注者に提出すること。
- (5) 受注者は、警備機器設置状況のわかる完成図面を発注者に提出すること。
- (6) その他この仕様書に定めのない事項について必要がある場合は、発注者・受注者両者で協議のうえ定めるものとする。
- (7) 消費税法（昭和 63 年法律第 108 号）及び地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）の改正による改正後の消費税率及び地方消費税率が適用されることとなる業務履行分については、その相当額分について契約締結後の適当な時期に協議により契約金額の変更を行う。

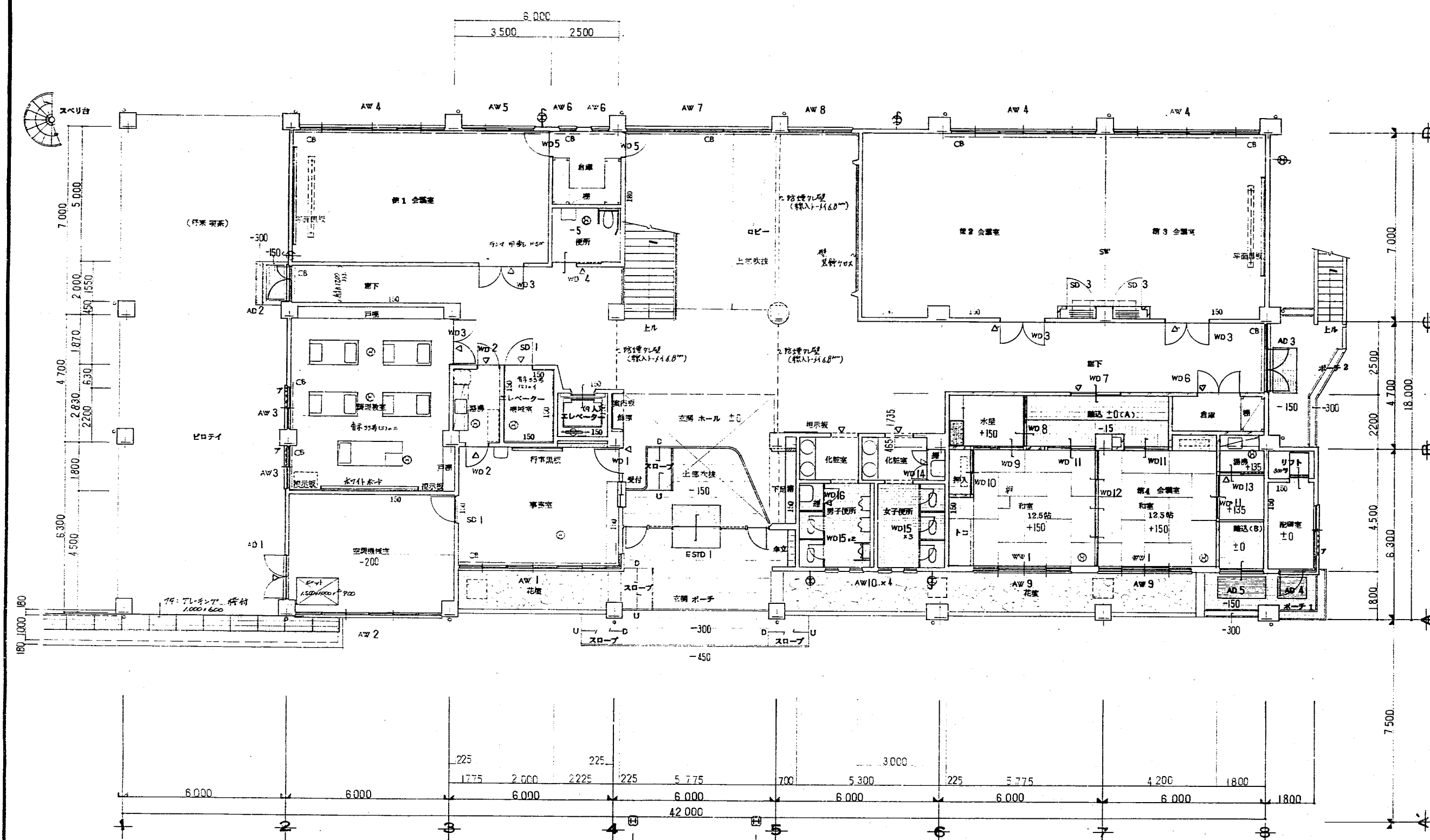
12 問い合わせ先（発注担当課）

(1) 施設の機械警備に関すること

東広島市 地域振興部 地域づくり推進課 地域活動支援係
電 話（０８２）４２０－０９２４（直通）
FAX（０８２）４２３－０２７０

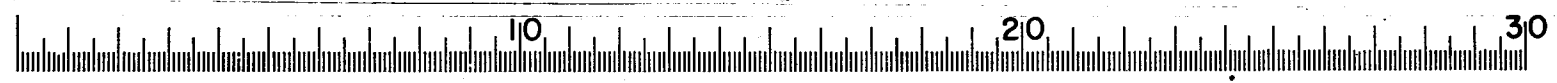
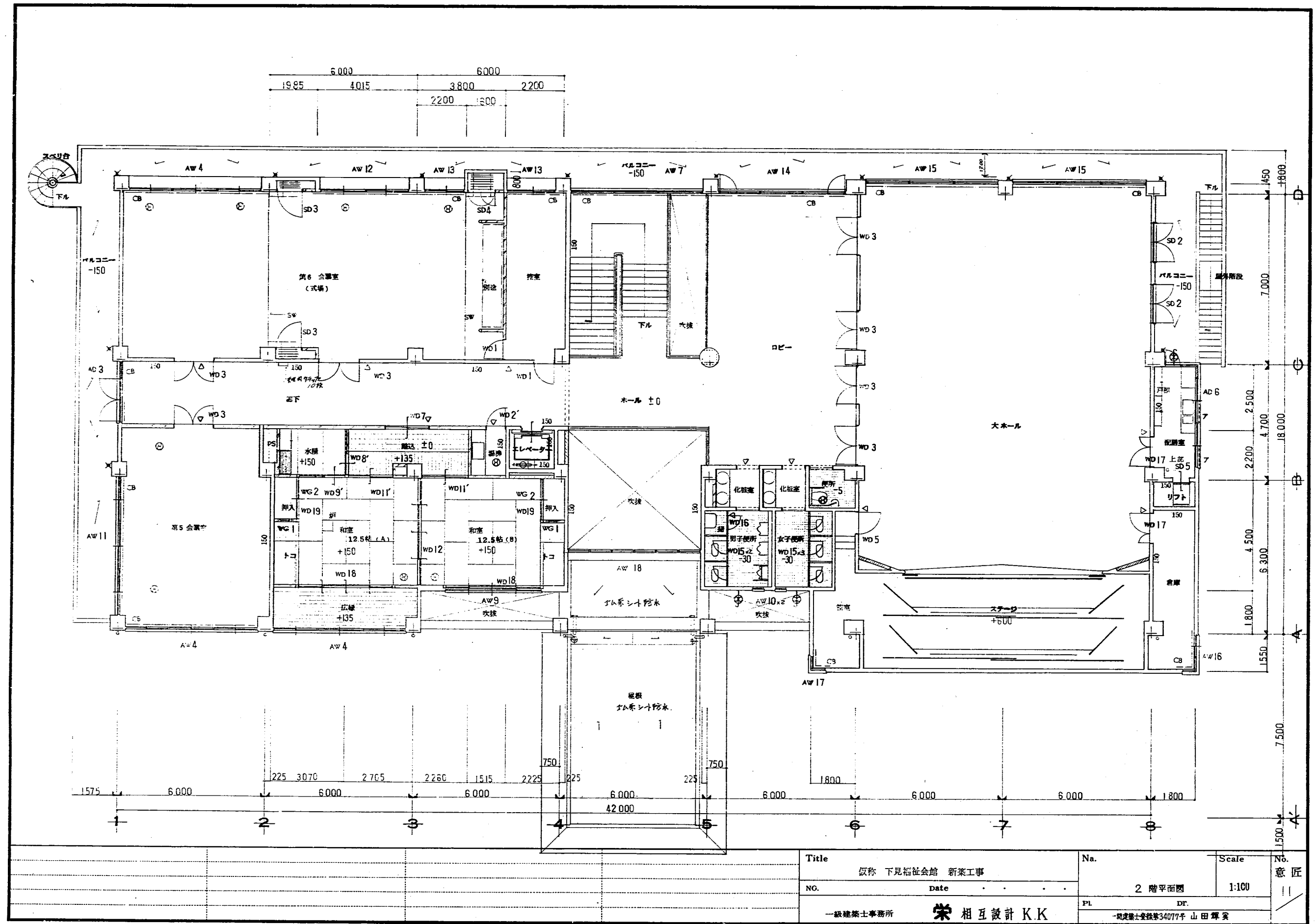
(2) 避難所遠隔開設システムに関すること

東広島市 総務部 危機管理課 防災対策係
電 話（０８２）４２０－０４００（直通）
FAX（０８２）４２２－４０２１



鉄筋コンクリート造	CB	カーテンBOX及レール	150	壁面を示す	外壁1/2x150	ESTD	ステンレス製自動ドア	AD	アルミ製ドア	Title	Na.	Scale	No.
コンクリートブロック造	④	換気扇(シャッター付)	取付工事	天井点検口		7	マド	アルミ付	AW	アルミ製マド	1 階平面図	1:100	意匠
鉄骨造仕切	⑤	天井型換気扇	取付工事	壁名札	平付	AG	アルミ製ガラリ	SD	鋼製ドア	NO.	Date		10
木造仕切	⑥	給排水(排水)		壁名札	平付	WG	木製ガラリ	WD	木製ドア	一級建築士事務所	栄相互設計 K.K.		
スライディングウォール	⑦	窓		床上下り	±15			WW	木製マド	PL	DT.		

※ バルコニー ⑧ レフトライン ⑨ 右レフトライン ⑩ 右レフトライン ⑪ 右レフトライン



東広島市三ツ城地域センター 遠隔開設システム設置位置

